

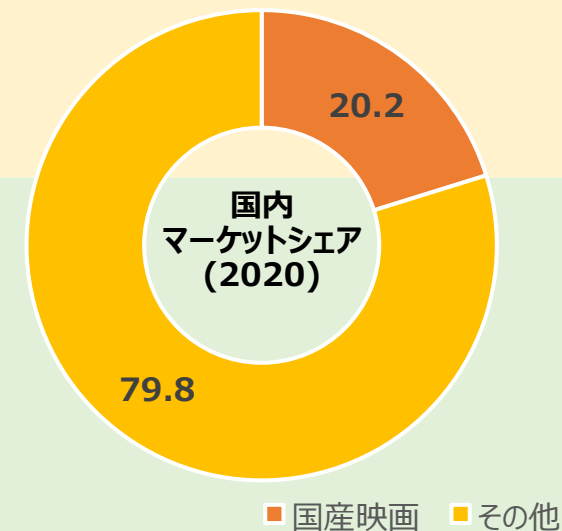


映画産業

- ・国際共同製作協定数は56カ国で世界第2位、毎年60作前後の共同製作を手掛ける（テレビ番組含む）
- ・国内映画制作本数は横ばい
- ・海外からのロケ利用は年々増加し、産業全体の半分近くを占める

国内市場

- ・世界最大の市場規模（※アメリカを含む北米）
- ・自国映画の興行収入は極めて低く、2%に満たない（2020年は例外）
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が独占、全体でも9割以上を占める



市場データ (2020年)

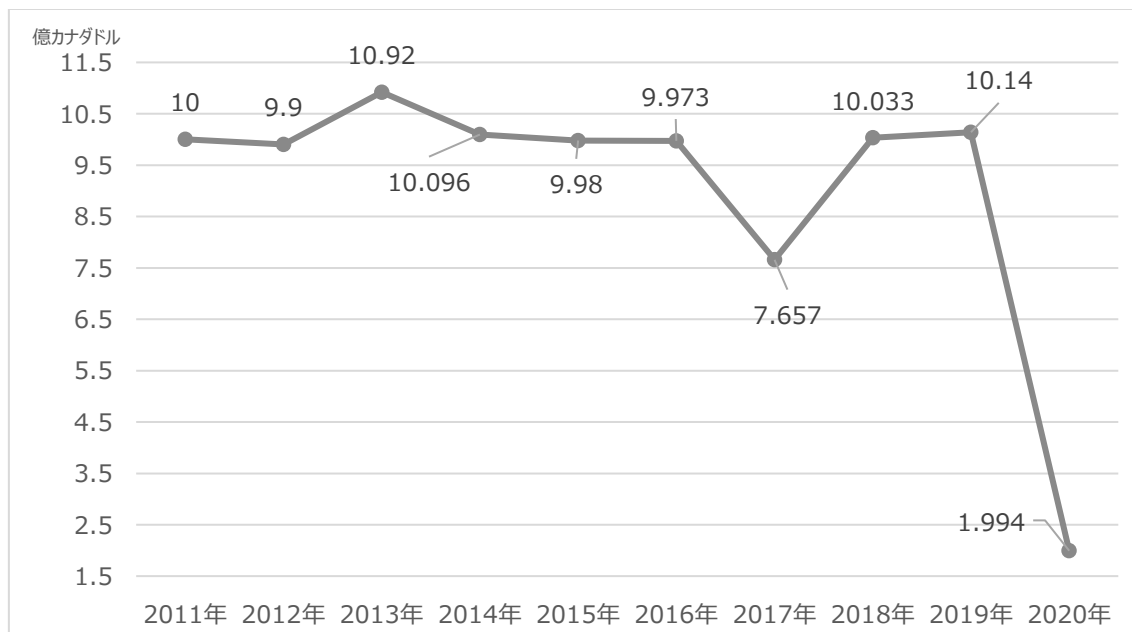
- ・国内興行収入： 1.994億カナダドル（2019年：10.14億カナダドル）
 - ・国内の劇場動員数： 0.213億人（2019年：1.107億人）
 - ・国内のスクリーン数： 3113（2019年：3111）
 - ・平均チケット価格： 9.4カナダドル（2019年：9.16カナダドル）
 - ・一人あたりの年間平均入場回数： 0.6回（2019年：3回）
 - ・マーケットシェアにおける国産映画の割合： 20.2%（2019年：1.7%）
 - ・映画製作本数： 137本（2019年：153本）
- *100%国産 = 112本、国際共同製作 = 25本

カナダの国内市場規模

1. 興行収入 (2011-2020) ¹

* 10 億カナダドル前後を推移していたが、2020 年は前年の 5 分の 1 程度に落ち込んだ。

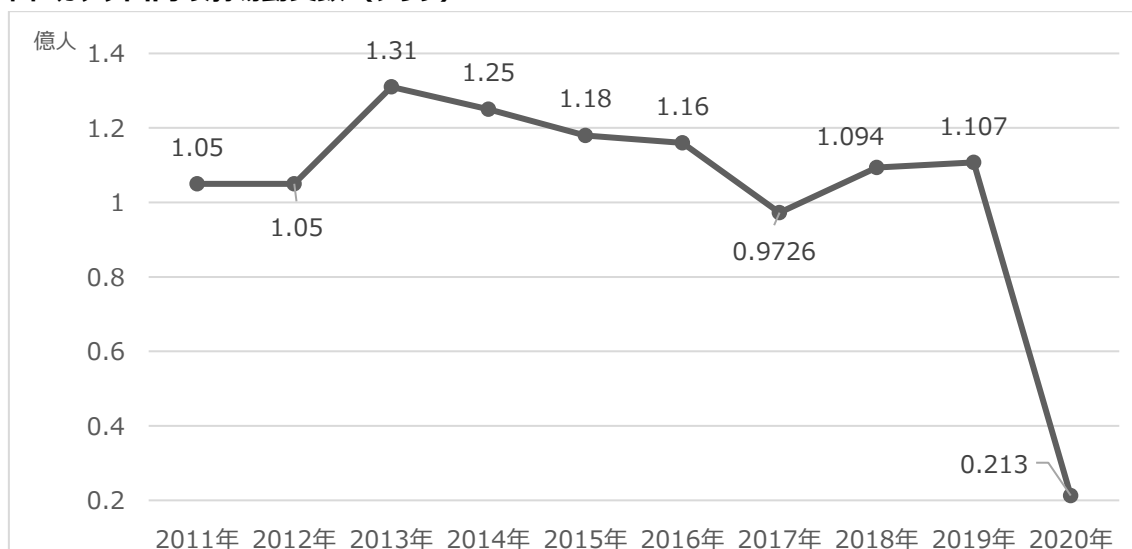
図 カナダ国内の劇場興行収入 (グラフ)



2. 動員数 (2011-2020) ²

* 1 億人以上の水準をキープしてきたが、2020 年は興行収入同様、前年比 5 分の 1 程度。

図 カナダ国内の劇場動員数 (グラフ)



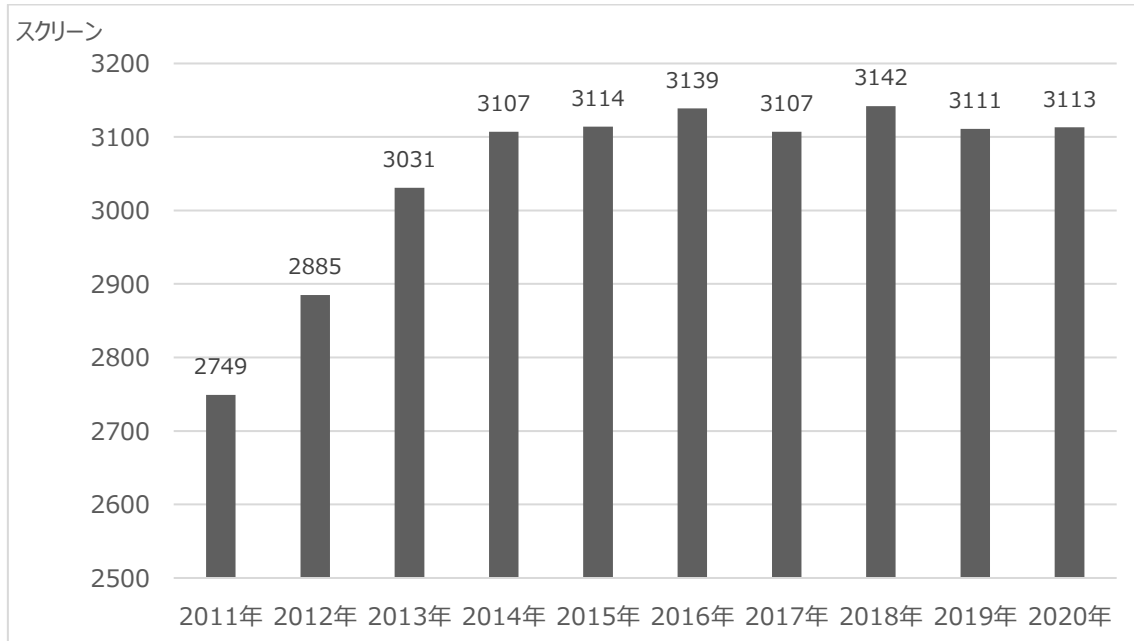
¹ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数（2011-2020）³

* スクリーン数は年により変動するが、3000 スクリーン以上を維持している。

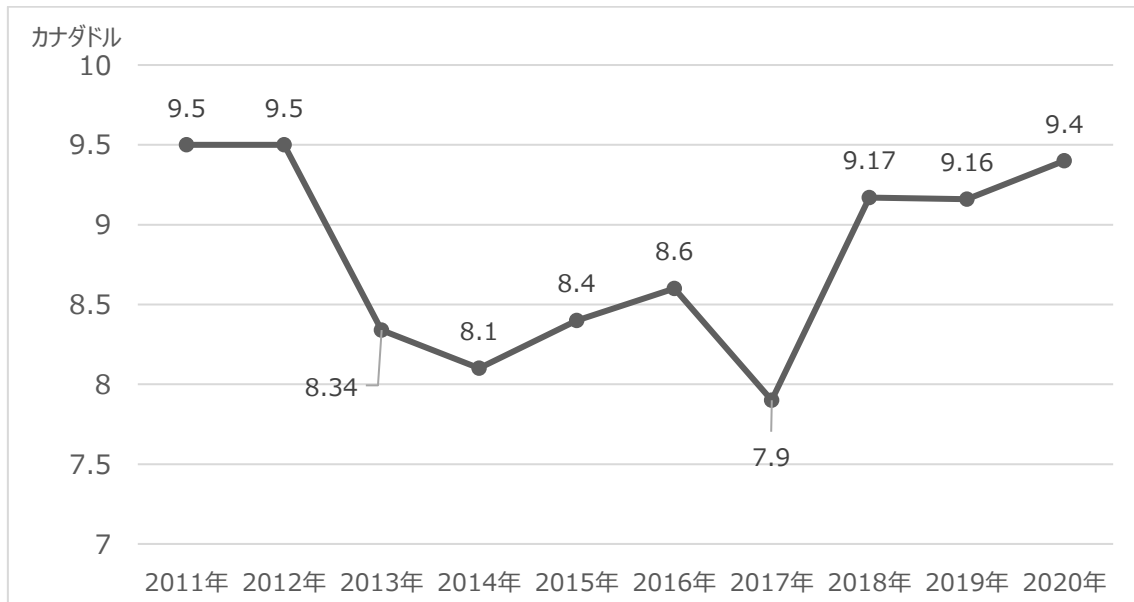
図 カナダ国内のスクリーン数（グラフ）



4. 平均チケット価格（カナダドル）（2011-2020）⁴

* 平均チケット価格は年により変動があるが、10年で1カナダドル以上値上がりした。

図 カナダ国内の平均チケット価格（グラフ）



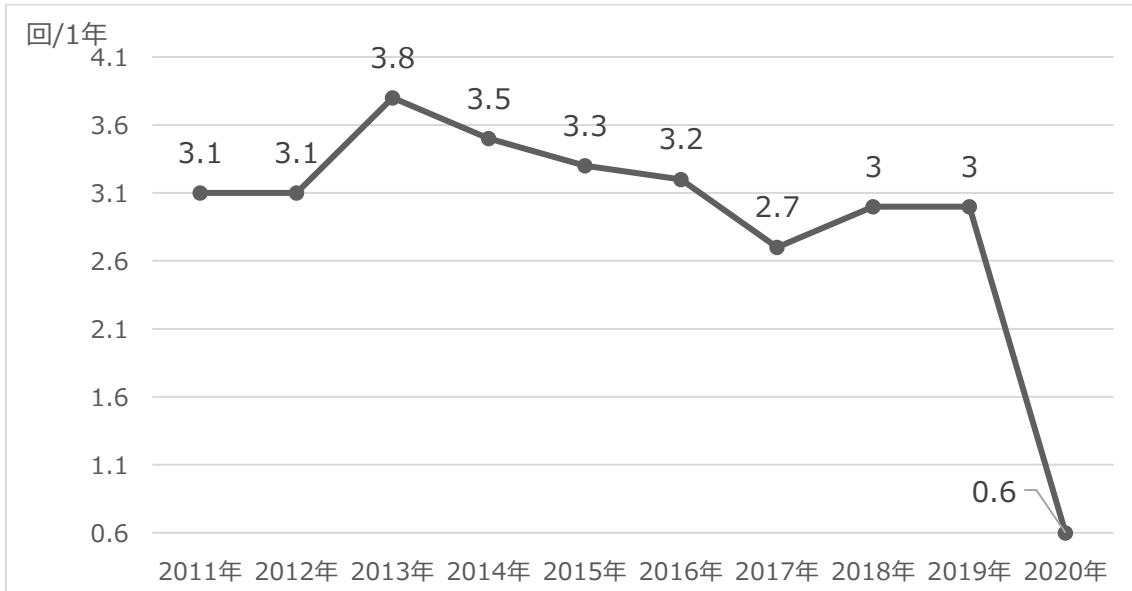
³ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2011-2020）⁵

* 概ね 3 回以上をキープし世界的にも高水準であったが、2020 年は激減した。

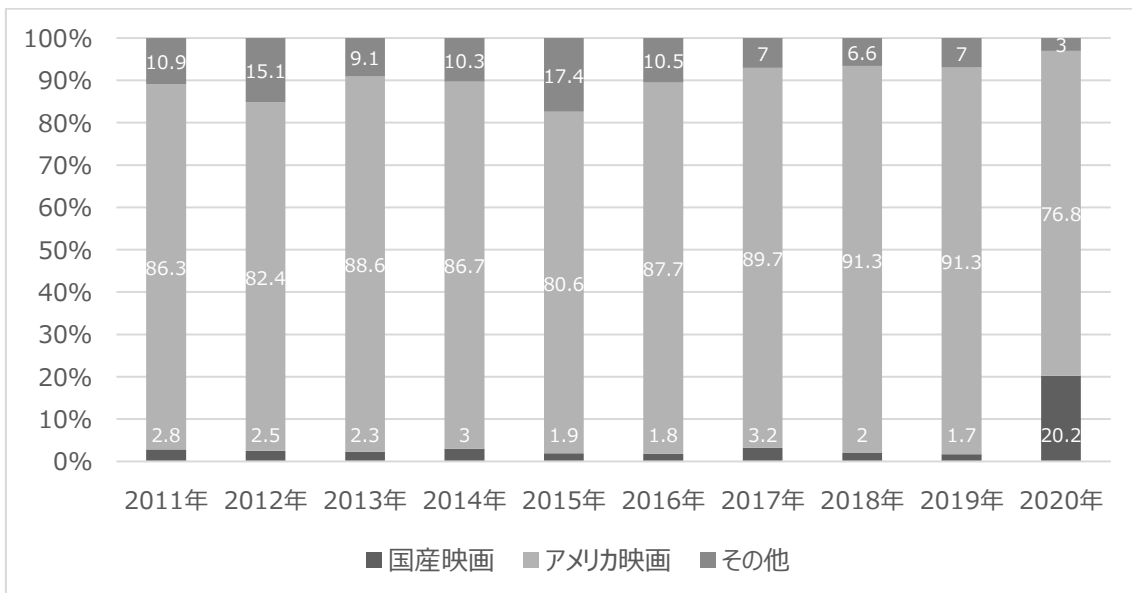
図 カナダ国内の一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2011-2020）

* 国産映画の割合が著しく低く、シェアの大半をアメリカ映画が占める。2020 年は 20%に回復。

図 カナダ国内のマーケットシェアにおける国産映画とアメリカ映画、その他の割合⁶



⁵ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

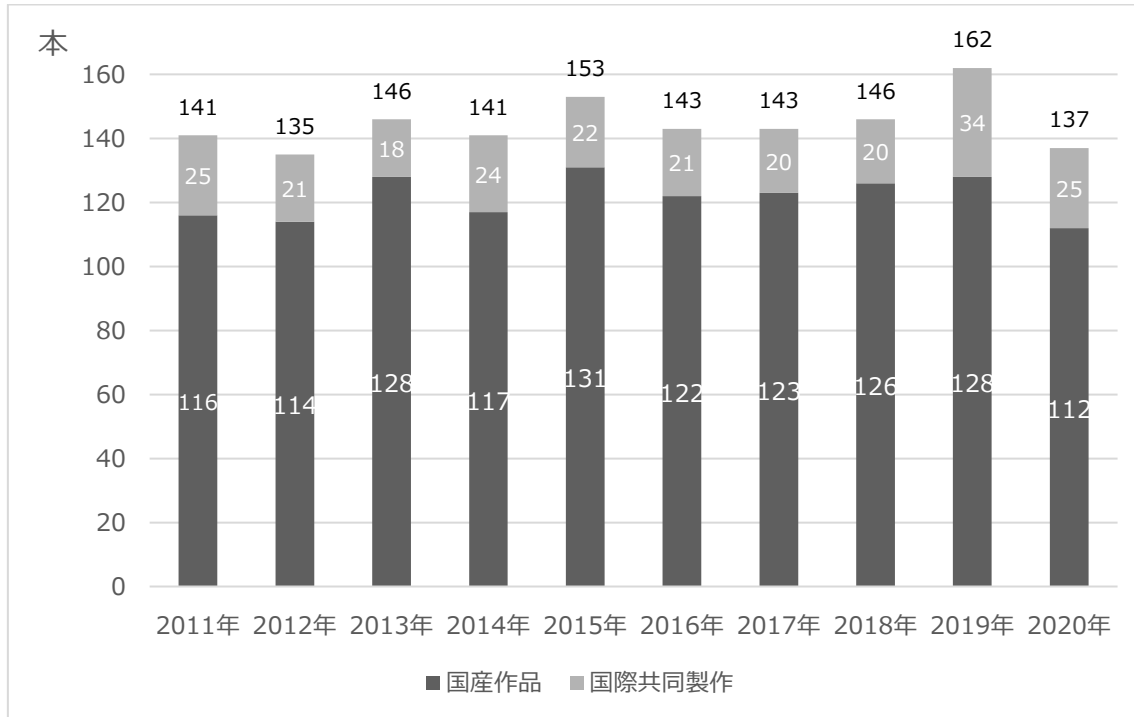
⁶ Canadian Media Producers Association (CMPA)作成「Profile 2019」を元に作成

<https://telefilm.ca/en/studies/profile-2019-economic-report-on-the-screen-based-media-production-industry-in-canada-2019> 四捨五入の関係上、元データで 100%に満たない年有り。

7. 映画製作本数（2011-2020）⁷

* 製作本数は140本前後を推移、国際共同製作の本数も近年は20本以上をキープしている。

図 カナダ国内の映画製作本数(グラフ)



⁷ カナダでは国産作品と国際共同製作作品は別の統計であり、便宜上合計値である。